

潮来祇園祭禮

見所案内
日程

2 初日 金

初日の潮来祇園祭禮は、素鷲熊野神社からの二体の御神輿を迎えるお浜下りから始まり、その後各丁内「乱曳き」での運行となり、夜は各丁で、潮来駅前にて各丁による踊りや曲曳きが披露されます。



見所

あやめ公園付近
19:00~19:30 三西

潮来駅前通り、曲曳き
19:30 四

潮来駅前

① 18:00~18:45 大六あ
② 19:00~20:00 演上貳七八
③ 20:00~20:30 下五

※時間や内容は変更する場合がございます。ご了承ください。

見所



見所



潮来駅前では各丁内による「踊り」「の字廻し」も披露

3 中日 土

中日の日中は、主に「乱曳き」となります。夕方からは西地区では「七丁連合」が、東地区で「東部合同曳き」が行われます。

踊り合戦

式典会場(カスミ緑地) 東宿通り

休憩区間

七丁目会館、六丁目会館、八丁目会館

東部合同曳き

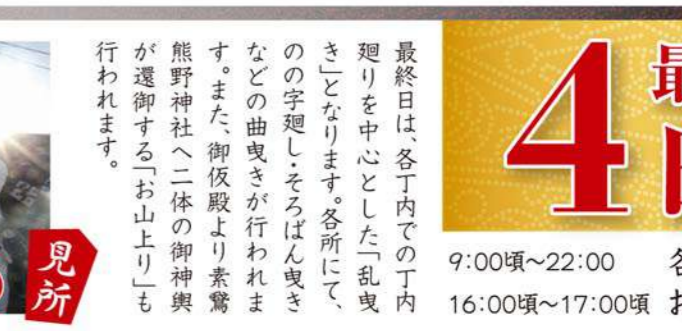
17:10~21:00

17:00 集合
17:10 合同曳き開始
19:50~20:30 踊り合戦
20:30 引継ぎ式典 21:00 曳き別れ

見所



見所



4 最終日 日

最終日は、各丁内での丁内廻りを中心とした「乱曳き」となります。各所にて、の字廻し、そろばん曳きなどの曲曳きが行われます。また、御仮殿より素鷲熊野神社へ二体の御神輿が遷御する「お山上り」も行われます。

9:00頃~22:00 各丁内山車乱曳き
16:00頃~17:00頃 お山上り

潮来祇園祭禮とは

潮来祇園祭禮は、旧潮来町の北に位置する天王山に鎮座する素鷲熊野神社の例大祭で、初めて潮来で例大祭が行われた文治四年以来、毎年八月上旬(三日間)に行われます。

この祭りは、初日に素鷲社(天王様)と熊野社(権現様)の二体の御神輿が出御(お浜下り)して、御仮殿への遷座で始まり、中日の本祭には渡御(丁内御幸)、最終日には還御(お山上り)がそれぞれ行われます。

祭りに花を添えるのが、三丁目の獅子舞及び、総数十四台の奉納山車(現在、三台が県指定有形民俗文化財、三輿の形が市指定有形民俗文化財)として、この山車に乗った芸座連によって奏でられる「潮来ばやし」(県指定無形民俗文化財)です。

この山車は、大人形に代表される飾り物や彫刻、玉簾、額など江戸・明治の匠の技を今に伝えるもので、各丁内の財産として大切に管理されています。

芸座連を含めると総重量約四トンにもなる山車が丁内の若衆によって曳き廻される様は勇壮で、辻々で山車の向きを変える時や坂道を登るときは若衆の粋と意地の見せ所となります。

圧巻は「の字廻し」や「そろばん曳き」に代表される「曲曳き」と呼ばれる曳き廻しで、若衆と山車と芸座連とが一体となった様は見事です。

案内地図

御神楽(獅子舞)の奉納

2日 9:30頃 場所:素鷲熊野神社
16:30頃 場所:御仮殿
19:40頃 場所:天満宮

3日 12:00頃 場所:御仮殿

4日 21:30頃 場所:天満宮

潮来祇園祭禮写真展

期間 7/27~8/4 (7/29休館)
開催時間 AM10:00~PM5:00

駅前通り 歩行者天国ご案内

2日 17:30~21:30
3日 16:30~21:30
4日 17:30~21:30

お祭り休憩処
営業時間(祭禮期間中) 15:00~21:30

①...お浜下り
②...お山上り

山車の現在地が瞬時にわかる
運行GPSへのアクセスはこちら!

https://doconeel.com/itako/

各町内ごとの運行表はこちら
http://www.omaturl.jp/

潮来祇園祭禮における大幟旗

幟は、その祭りの場である事を知らせる目的であるが、それは人に知らせるのではなく、神様をお迎えする為の目的として立てられています。

現在十四丁内中、十丁内が幟を立てています。地図を参考に、大幟旗を探して見てください。

- 下壺丁目 北民蒙徳澤・萬古仰威堂
- 貳丁目 祇園神會
- 三丁目 蓮豆有政・黍稷方華
- 四丁目 祇園神會
- 御仮殿 祇園神會
- 五丁目 素鷲社併齋
- 六丁目 壽考維祺・享祀不武
- 七丁目 威驅龍蛇
- 八丁目 徳護遺齋
- 十番 鎮守御祭禮

ご存知ですか? 潮来節

潮来節は、香取・鹿島参詣で賑わった常陸國の水郷潮来を起点とし、江戸の遊里で流行をみせ、その後全国的に伝播した流行歌謡でした。基本は男女の情愛を歌うものです。「七七・七五」の26文字でひとつの歌謡となり、現在二千曲余りが記録されています。

▼原曲

いたこ出島の 七(二四)
真蕨の中に 七(四二)
あやめ咲くとは 七(三四)
しほらしや 五

の字廻し

の字廻しは、山車の向きを変えずに元の位置に戻ります。これを3往復または5往復する曲曳きです。

◆山車乱曳き
各丁内の山車が、各々のコースを曳き廻すことを「乱曳き」と言います。

◆通し砂切
山車を、往きは「馬鹿」(砂切(さんぎり))、戻りは「全速力で走らせ」戻りは「段物や花三番」等のゆっくとした曲で、山車の向きを変えずに元の位置に戻ります。また山車を3往復または5往復する曲曳きです。

◆山車乱曳き
各丁内の山車が、各々のコースを曳き廻すことを「乱曳き」と言います。

祭り用語解説

◆曲曳き
山車曳きの見せ場としての特別な曳き廻しのことを指し「の字廻し」「そろばん曳き」など全部で8種類あります。

◆の字廻し
重さ3~4トンにも及ぶ山車を山車に向けて左前車輪を軸にして、ひらがなの「の」の字を書くように、山車を数回(奇数の3回または5回)回転させる曲曳きで、ゆっくり回転させることが美しい「の字廻し」とされています。勇壮・迫力あるの字廻しは圧巻です。

◆そろばん曳き
「砂切(さんぎり)」とは、朝山車が出発する時と、夜山車が到着した時のみに演奏される儀式的な曲です。また山車を整列した時に「番に「砂切」が演奏されることを「通し砂切」と言います。演奏する囃子連によつて違いがあるので、聴き比べてみて下さい。